

千葉大学医学部附属病院で肺切除術を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年5月7日

呼吸器外科

呼吸器外科では、「解剖学的肺切除における術中及び術後肺漏の後ろ向き研究」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2023年1月1日～2025年5月2日の間に肺切除術を施行された方

1. 研究課題名

「解剖学的肺切除における術中及び術後肺漏の後ろ向き研究」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年12月31日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

解剖学的肺切除の術中及び術後肺漏のリスク因子を調査しています。2023年1月1日から2025年5月2日の間に当院呼吸器外科において解剖学的肺切除を受けた患者さんに関して、手術データベースをもとにした臨床情報を用いて、術中、術後肺漏の有無、遷延性肺漏の有無を評価しリスク因子を研究しています。具体的な臨床情報としては、年齢や性別、喫煙指数、呼吸機能検査、術式、術後経過などです。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えた情報は千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室資料室にて解析がおこなわれます。氏名等と研究IDとの対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢や性別、喫煙指数、呼吸機能検査、術式、術後経過、術

中肺漏の有無、術後肺漏の有無などになります。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：呼吸器外科 教授 鈴木秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院呼吸器外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

呼吸器外科 教授 鈴木秀海

043（222）7171 内線5464